

大事協だより

大島地区公立小・中学校
事務職員協会 研修部
第 37 号
2012 年 6 月 27 日発行

新年度が始まり、早三ヶ月。天候も豪雨にあったかと思ったら倒れるくらいの晴天になったり。体調など大丈夫でしょうか。大事協も新役員も決定し、皆様の御協力のもと、この紙面を通じて事務職員の語らいの場になっていけたらと思いますので、よろしくお願いします。

○大事協は次のような意義のもと
設立・活動しています○

○御確認をお願いします○

<協会設立の基本理念に則り、
更なる発展を目指して活動する。>

- ①大島地区小・中学校事務職員全員参加の「輪（わ）」を目標とする。
- ②本会は、地区内の緩やかな繋がり親睦・融和・資質向上を目指す。
- ③大島地区内における情報交換の場とする。
- ④実務研修の充実を図る。

<会長あいさつ>

犬田布中学校 加川純男

初代会長、泉一さんの後を引き継ぐことはとても難しいかなと思っています。大島地区事務職員全員のゆるやかな繋がりを大事にしながら、この協議会を運営していきたいと思っています。理事や執行部全員で意見を出し合いながら、事務職員全員が大事協に参加していることを少しでも感じていただけたらと思います。自分も大島地区しか経験がないため、他の地区の状況や取り組みを知らない部分もたくさんあります。他地区で経験されたことを、自分たちに教えてください。初めての方も、気づいたことや疑問に思ったことをどんどん教えてください。少しでも大事協が前進できることを願います。

さて、与論町を最初に奄美市でもやっとな共同実施が始まり、他の町村でも取り組んでいるようです。支援室でどんなことをするのか、どんなことができるのか、皆さんで考えていきたいと思っています。自分の所属する学校での事務や職員としての役割を忘れずに、支援室で行う業務を考えてください。それぞれ特色のある支援室ができあがることを期待しています。

<平成24年度 大事協役員>

本年度の役員が総会で承認されました。

職名	氏名	勤務校
会長	加川 純男	犬田布中学校
副会長(総務)	金森 永幸	緑が丘小学校
副会長(研修)	藤崎 久子	伊津部小学校
書記	阿世知理恵	赤木名中学校
会計	盛山 喜昭	大勝小学校
監事	奄美市東部ブロックから選出	
監事	奄美市西部ブロックから選出	

☆第7次県費事務改善検討委員・本田英子(龍北中学校)

どうぞよろしくお願いします。

今までの感謝も意も込めて、役員をされていた先生方から、それぞれ一言頂きました。

☆大事協発足当時から会長を務めていただいた 市小中学校・泉一先生より一言☆

5月の総会で加川会長にバトンを渡すことができ、ほっとしています。

大島地区に「事務職員全員の集う会を作りたい」という、先輩たちからの想いを受けて平成15年に準備会が立ち上がったから、あつという間の9年間でした。

正式に発足したら先輩方に会長は引き受けてもらえるものと思って引き受けた準備会会長、それを退職までやることになるとは・・・その間、多くの会員の皆さん、とりわけ役員の方にはたくさん支えていただきました。そのおかげで大任を果たすことができたと思っています。

年度当初は、今年こんな事をやってみたい、と考えはしたものの思うようなことは何もできず、会の運営をマンネリ化させてしまったようで大変申し訳なく感じています。しかし、交流会、大事協だより、研修会アンケートの3つの事業はそれなりに効果を上げてきたのではないかと考えています。

今年度からは新会長のもと新たな事業へも取り組んで欲しいです。会員の皆さん一人一人が自分たちの会であることを自覚し、自分の想いを会に反映していくように心がけて、ますます大事協が楽しく・魅力ある「集まり」に発展していけるように期待しています。

長い間ありがとうございました。

☆副会長(総務)を務めて頂いた 節田小学校・鳥越正人先生より☆

三年つとめさせていただきました。総務担当副会長でしたので諸会議の運営に主として関わりました。また副会長という立場なので会長をしっかり補佐しなければならないのですが、逆にいろいろと頼ってしまって、泉会長には申し訳なかったと思っています。大事協という組織をよくわからないまま役員になってしまって、当初は戸惑うことが多くありました。皆さんのおかげで大過なく退任できたことを感謝申し上げます。

地区研修会のアンケートへのご協力ありがとうございました。以前にも書きましたが、いろいろな世代の意見・感想を見ながら集計するのは、とても楽しい作業でした。

地区研修会での研究発表の件については、この2年ほどいろいろ議論してきました。大事協主導で研究発表の時間を運営していくという方向性は役員会でも一致していたので、理事会で平成24年度からとりあえずはじめようという提案をしたところでした。

しかし25年度以降の具体案を提示するまでには至りませんでした。この件についてはアンケート等でみなさんに意見を出してもらいましたが、あまりにも多種多様な考えを集約することができなかつたという事があります。反対意見、消極意見も数多くありました。しかしながら、大事協の理念に「地区内における情報交換の場とする」ということがあります。これを達成するために全員が集まる地区研修会で各市町村の研修会における成果を報告することはとても意義ある有効な方法であると私は思っています。ついでに加えると、大勢の前で発表する経験、内容はともあれそのためのレポートを作成する経験を積んでおくことは、将来の大きな財産の一つとなる、と思います。今後、地区研修会での自主発表が定例化していくことを期待しています。

☆副会長(研修)を務めて頂いた

朝日中学校・上原隆寛先生より☆

大事協だよりの原稿・編集の御協力ありがとうございました。これからも、大事協だよりが盛り上がっていくように、よろしくお願いします。

☆会計を務めて頂いた

龍郷小学校・崎坂百合恵先生より☆

2年間、大事協の会計を担当いたしました。この会計報告が最後のお仕事です(少し大げさですね・・・)。

いたらない点も多く、理事・執行部の方々をはじめ、たくさんの方にご迷惑をおかけしてしまったように思います。申し訳ない思いでいっぱいです。

ただ、私自身は大変勉強になりました。他の市町村の方とお話する機会も、それまでと比べ増え、刺激にもなりました。

引き受けた当初は「しまった、安易に引き受けていいことではなかった」と青くなったものでしたが、今はして良かったなあとと思っています。

会計報告まで終わったとはいえ、これから引継を行います。それまでは気を抜かずによいと思います。

2年間、本当にありがとうございました。

<交流会 会計報告>

報告担当:旧会計 崎坂百合恵

今年度も、第1回大島地区小・中学校事務職員研修会終了後、交流会が開催されました。その会計報告をいたします。

収入)

参加費 4,000円 × 82名分 = 328,000円
(会員77名, 補助1,000円×77名)

支出)

料理代 2,800円 × 83名分 = 232,400円
飲み物代 1,200円 × 82名分 = 98,400円
計 330,800円

収入) 328,000円 - 支出) 330,800円 = ▲ 2,800円

※ 不足分 2,800円を大事協が負担しました。

厚生部の方々のご協力のおかげで、スムーズに会計を行うことができました。この場をお借りしてお礼を申し上げます。ありがとうございました。

<各地区からの便り>

今回の原稿は、①知名町②天城町③瀬戸内町からいただきました。ありがとうございました。

①知名町事務職員会

知名町立知名中学校・事務職員 前原 一陽

こんにちは、知名町事務職員会です。

知名町は小学校5校、中学校2校が設置されており、各学校1名ずつ事務職員が配置されています。構成は事務主幹1名、事務主査1名、事務職員5名で、3年目までの経験の浅い事務職員が多いです。しかし、だからこそ相互の学校間で助け合い、慣例にとられない柔軟な発想で仕事を進めることができると、むしろ経験が浅いことをプラスにとらえ7校協力しながら日々の業務に励んでいます。

今年度の研修計画は町内各校持ち回りで実施される町事務職員研修会が7回、諸手当認定の相互チェックを行う認定事務研修会が5回、お隣の和泊町と合同で実施する両町研修会が3回と管外研修を予定しています。昨年度の管外研修では霧島市の天降川小学校、薩摩川内市の川内小学校、鹿児島市の西陵中学校を視察し、主に施設・予算関係と支援室業務の現状について学んできました。

また、今年度は平成25年度から知名町でも本格実施する学校事務支援室業務に向けて、10月から月1回のペースで支援室拠点校となる予定の知名小学校事務室にて支援室業務の試行を実施します。今年度の知名町の研修テーマは「共同で行う業務の明確化と実践の手立て ～学校事務の適正な事務処理及び効率化～」です。この研修テーマは支援室業務を見据えたものであり、昨年度からの継続となっています。昨年度はこのテーマに沿って支援室で取り組む業務について諸手当認定、給与・旅費に関する事務の相互点検、町費事務の3本柱を設定し、実際に持ち回りの研修会の場を利用して各学校の実績手当関係帳簿等の相互点検を実施しました。

今年度はこのテーマを更に掘り下げ、共同で行うことによってより適正化がなされるような業務とその手立てについて更に研究を重ね、25年度から始まる支援室業務に落とし込んでいきたいと考えています。



②天城町事務職員会

天城町立蒸久小学校・事務職員 迫 啓恵

こんにちは、天城町事務職員会です。天城町は徳之島の西部に位置し、人口 6,400 人の町です。天城町には空港があり、今年度 4 月から「徳之島子空空港」に名前が変わりました。6 月にはトライアスロンが徳之島で開催されますが、そのスタートとゴールも天城町です。そして 4 校の小学校と 3 校の中学校、2 校の分校があります。

天城町事務職員会には、今年度新規採用者が 1 名加わり、6 名でのスタートとなりました。そのうち 4 名が初任校で平均年齢 29 歳の天城町事務職員ですが、それぞれ悪戦苦闘しながらもお互いに助け合い、和気あいあいと頑張っております。

今年度は年 10 回の天城町学校事務職員会を計画しています。そこでは、手当認定のほかに町費事務の確認、相互自主検査、そして来年度から実施予定の共同実施の準備を進めています。昨年度、既に共同実施の行われている阿久根市を訪問する機会がありました。その際に教えていただいたことを参考にしながら、教育委員会との話し合いをもっています。第 2 回天城町学校事務職員会では、教育委員会総務課長に参加していただき、規則や要綱の確認を行いました。

その他、年に 3 回の徳之島三町学校事務職員研修会では徳之島町・伊仙町との情報交換を行っています。同じ徳之島島内であっても手続きや事務処理に違いがあり、他の町の状況を知ることによって新たな課題が生まれることもあります。分科会では 6 人がそれぞれ 1 つの班を担当し、班ごとに課題について研修をしています。

このように研修会等を通して、これからも協力しながらよりよい天城町事務職員会をつくっていききたいと思っております。

今後ともよろしくお願いたします。



③瀬戸内町事務職員会

瀬戸内町立古仁屋中学校・梶木 賢一郎

こんにちは。瀬戸内町事務職員会です。

平成 24 年度は、3 名転出の 3 名転入ということで昨年度と変わらず 8 名でのスタートとなりました。8 名のうち新規採用職員 2 名、期限付き職員 2 名となっています。主な活動内容として、毎月行っている『瀬戸内町公立小・中学校事務職員研修会』と『諸手当認定事務に係る相互支援会』があります。また、本島地区と加計呂麻地区に分かれ合同自主検査も行っています。

『瀬戸内町公立小・中学校事務職員研修会』では、担当班が旅費・給与・福利厚生などの事例研修の資料を準備し、より実践的な研修会を目指して活動しています。

『認定事務に係る相互支援会』では、手当認定の相互審査や認定事務に関する意見交換を主として行っています。また、手当認定が少ない時期には『瀬戸内町公立小・中学校事務職員研修会』と同様に各々が資料を準備し研修を行っています。

本町では平成 25 年度からの学校事務の共同実施を目指していますが、17 校中 8 名の事務職員数という物理的要件や、離島の離島を抱えているという地理的条件など様々な障害があります。しかし、新規採用職員・期限付き職員にも優しい充実した支援・研修体制はどの地区にも劣らないと自負しております。これを武器に学校事務の共同実施の本格導入を目指していきたいと考えています。

少ない人数ですが、元気よく頑張っていきますのでどうぞよろしくお願いたします。ぜひ瀬戸内町にも遊びに来てください。会員一同心よりお待ちしております。

↓江仁屋離島(無人島)の日の出





新規採用職員の方々から①

知名町立上城小学校・事務職員 上三垣 健士郎

上城小学校に赴任しての2週間余りを振り返ってみると、短いようで長い時間であったように思います。以前一度だけ沖永良部島を訪れたことがあり、地理や風土など少しを覚えていたこともあって、それほど不安や緊張はしていなかったかもしれません。しかし、初めての職場や初めてのひとり暮らしなどの慣れない環境の中で、やはり時間に追われてただ慌ただしく過ぎていく日々が続きました。

年度初めの仕事の忙しさや大変さはある程度は予想していましたが、実際にはそれ以上であったかもしれません。次々と来る不慣れな仕事に、自分が今何をやっているのか、頭の整理がつかずに過ごしていたときもありました。それでも、近隣の学校の先輩方に親切に優しく助けていただきながら、何とか乗り越えてこられました。忙しい時期にも関わらず、丁寧に指導していただいた先輩方には非常に感謝しています。

最近では仕事や環境にも慣れ始め、心身ともに少しずつ余裕も出てきました。今までは、ほとんど毎日の仕事にしか目を向けることができませんでしたでしたが、これからは少しずつでも周囲にも視野を広げていきたいと思えます。

そしてそのような中で、学校の子供たちや地域の方々とのふれあいといった、学校事務職員ならではの魅力の部分を楽しみながら過ごしていきたいと考えています。これからもよろしく願い致します。



新規採用職員の方々から②

天城町立天城小学校・事務職員 松崎 史果

4月に天城小学校に赴任して2ヶ月が経とうとしています。4月2日に交付式を終えそのまま船で市内を旅立ち楽しい気持ちもありましたが、社会人1年目、一人暮らしも1年目と何もかもが初めてで不安な気持ちのほうが大きかった日を思い出します。2ヶ月が経った今まだ仕事も一人暮らしも慣れない部分も多々ありますが毎日楽しく過ごすことができています。

これも、天城町の事務職員の先生方や天城小学校の先生、地域の方々のおかげだと思っています。

私は事務職員の先生方にささいなことでも分からないことがあると電話や訪問し聞いていますが、どんなときでもひとつひとつ丁寧に教えてくださり、また効率よく仕事が進められるようにたくさんのアドバイスをくださりとても感謝しています。

町の研修会や新人研修会等に参加し多くの学びを得ていますがその中でもその日にした業務をメモしておくこと、提出書類は一覧を作り控えを持っておくことが大事だということを学びました。これから先も分からないことは分からないままにしないというスタンスを大事にし、効率よく迅速にそして丁寧に仕事ができるように多くのことを学んでいきたいと思えます。

これからも事務職員として子どもたちが笑顔に満ち溢れ楽しい学校になるように、先生方が働きやすい環境になるようにサポートしていけるように頑張りたいと思えます。



新規採用職員の方々から③

瀬戸内町立阿木名小中学校・谷口 静一

初めまして、新規採用事務職員として今年の4月から阿木名小中学校に赴任しております谷口静一と申します。

2ヶ月が経ち、4月当初に比べれば幾分かはましになったとは思いますが、それでもまだまだ分からないことだらけです。仕事のことだけではなく、職場でのルールや社会人としてのマナーなどについても学ぶべきことがたくさんあります。まさに毎日が勉強の連続といった状態です。

校内の先生方や町内の事務職員の先生方には、いつも豊富な知識と適切な助言によりご指導をいただいております。いただいた助言等を最大限に活かし、まず最初の1年を全力で乗り切ろうと思えます。

また、せっかく奄美大島に来たので、島内をドライブしたり地域行事にも積極的に参加したりできたらと考えております。

未熟者でご迷惑をおかけすると思えますが、一生懸命頑張りますのでどうかよろしく願いいたします。



○編集後記○

今年度最初の発行は、喜界町が中心となって原稿集約・編集して頂きました。ありがとうございます。次号は10月下旬に発行予定です。編集担当市町村は与論町、原稿提出市町村は①和泊町②宇検村③奄美市東部④奄美市西部となっています。

よろしく願います。

今回、内容が盛りだくさんになってしまいました。読みにくくなってしまっ、すみません。

その他の地区の皆様も研修会の様子や取り組みはもちろん、趣味や写真等の原稿を下記まで、お送りください。お待ちしております！

送り先：itsubu-e @ city. amami. l g. jp
伊津部小学校・藤崎